

発行所
横浜市神奈川区沢渡
4の2
神奈川県保育会
発行人
鈴木 萬 吏
題字
故 内山岩太郎 筆

期 待 に 応 え 合 っ て

神奈川県保育会会長 鈴木 萬 吏

来年度の神奈川県予算が決まると素晴らしいことが実現される。民間保育所振興費の加算によって実質的に県所管の民間保育所の措置費が全て甲地以上となる。勿論市町村の格別なご理解もあってのことではある。

長年の矛盾や不満が解決した喜びは何とも言い難いもので、やる気満々の皆さん方と拝察している。神奈川の福祉のレベルを設定して欲しいとの主張に対する、かくも見事な回答が！と言う思いにひたっている。が、手放しで喜んでいるばかりではなまるまい。ここは一番奮励努力する義務を感じる。それぞれの保育所が持てる力を充分に発揮して、地域に無くてはならない存在となっていくことが重要である。それにしても人材確保は焦眉の急になってきた、

人件費財源のアップも即効性はなく徐々に何年か先に効果が現れよう。廃止されてしまった国や県の保母修学資金の貸付制度も復活は可成難しいだろうし又今の学生に効果があるか否かは分からない。

そのことで大変気になるのは、返済義務がありながら滞納者が驚くほど多いとのこと、乳幼児の心を育む保母の有資格者がであることは寒心に耐えない。

現下の状況は四週六休どころか四週五休もままならない、給与よりも休暇の現代、年間の総労働時間で考えて何日間かの集中集約型の休暇の与え方を実行した方が現代ッ子には歓迎されると思う。そして年間計画を策定して早くからそれぞれが自分の休みを承知していることがより一層効果的に作用することとなる。

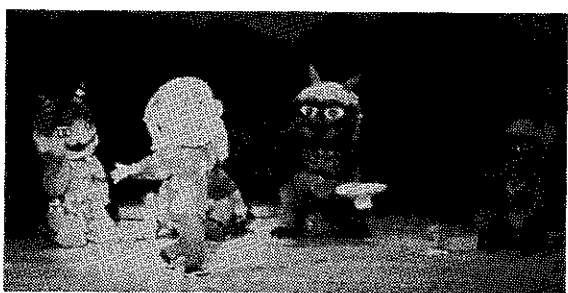
鈴木 萬 吏

広報部からは昨年の湯河原での主任保母研修会で行った講義内容「国際化の前に」の要約を求められたのであるが、外国語を生唾りする前に、日本語でちゃんとした話ができることを第一に、基礎的・文化的・思想的・主体的諸条件についての話であった。甚だ初步的とも申すべきもので遠慮させて頂く、ただ一月十三日(日)のテレビ・竹村健一氏が湾岸戦争は九〇%ナイ外務省の高官も七〇%アリエナイと放送したので百%戦争だと予測していた私は次の週の竹村健一氏の「世相を斬る」の番組を、どんな弁疏弁解をするかを楽しみにして居たが、全くそのとにふれなかったのは厚顔無恥と申すか、マスコミ人の習性と可笑しい限りである。

海老名地区

国際児童年に、「子ども達に夢を」との提案で人形劇公演を計画したが公演料が高く無理なので自分たちの手で作ることにした。

人形作りの基本から勉強し発泡スチロールでの頭作から、衣裳、吹き込み、大道具、振り付けと約三年の月日を費やした。



「三匹のこぶた」「赤ずきん」を海老名市の文化会館で上演するまでに至った。

大好評を得たことで自信がつき、ウレタン、張り子と素材を変え作り続け

た、昨年十一月十一日に「公立保育園」二十周年記念事業の一環として、実行委員会を結成して準備にかかった。第一回公演より八年振り、再び文化会館に於いて、「こびととくつや」「こぶとりじいさん」を上演することができました。又各園児童の作品展、給食の試食コーナーでは、栄養士、調理員さん達もハッスル、又地域の方々の協力と、海老名市の職員が一体となり、実施することができました。

反省する点も出ましたが、何よりも大きな収穫は、みんなの輪が広がったこと、一人ひとりが「ヤッター」という充実感が味わえたこと、ひとりの力は微力でも、みんなの力を合わせれば、何でも出来るということ、身をもって実感できたすばらしい一日でした。

座間地区

平成二年度保育まつりは、十一月十一日(日)午前9時より午後4時迄、市内かにが沢公園等の会場に於いて、座間市ふるさとまつりに合流する形で開催されました。一つは市内の様々な団体 鼓笛、おはやし、みこしなどをもって参加するパレードに保育まつり実行委員会として仮装パレードとして出場し、保育園の案内等のパンフレットを風船と一緒に千部を沿道の母と子に配布し大好評

のうちにPRすることが出来ました。又平行して催会場となっているかにが沢公園にて、子ども広場と育児相談コーナーを開設し、子ども広場では、パネルシアター、作ってあそぼう、ゲームコーナーなどでいづれも子ども達の人気を集めた。この保育まつりも当初は保母を対象に記念式典、講演



会、アトラクションという形から対象を保護者に広げ、地域の文化会館を巡回して講演会と園児の作品展、保育園生活の写真展、ビデオ放映、試食会となり、更に全市的な規模へと前記の形へ変化して行きました。そして今、地域のニーズに保育園が持てるハード、ソフト両面の資源をどう活用して応えられるか新しい形式を模索している所です。



相模原地区

相模原市の保育まつりは、公立保育園(四十五園)、陽光園及び行政が一体となり、市民に対して日頃の保育園等に対する理解と認識を高めることを目的に、昭和五十五年度に第一回を開催し、今年度で十一回をかぞえました。保育まつりの主催は、相模原市保育まつり実行委員会、その運営は、公私立保育園からの代表者で組織する実行委員会及び幹事会により行っております。この委員会は、五月に初会合を持ち十一月の開催日まで熱心にアイデア、プランなどが練り上げられます。今年度の保育まつりを紹介しますと、十一月十日、十一日の土、日曜日に市立あじさい会館を会場に開催しました。今回は、「小さなて、やさしくつなぐ大きなて」をテーマに、「親子で楽しむパラエティシヨール」、園児による「作品展」、保母が出演する「ちびっこランド」



十二月二十五日(土) 保育園々庭で地域住民、保護者、卒園生達が一同に会して、楽しく交流するふれ合いまつりが開かれた。前日は雨に降られ心配していたが、当日は好天気に恵まれ、朝早くから近所の方々は、開店はまだかまだかと何度も顔をのぞかせていた。催物としては、大安売りのバザーあり、もちつき大会、豚汁おしる粉、綿菓子等の模擬店、手作りコーナー、おしゃべり広場ありで大賑わいだった。最近あまり見ることのないかまどにて、餅米をふかし、うすでつくお父さんや民生委員の方々、出来たての餅をちぎり、きな粉をまぶすお母さん、それを求める卒園生や近所の子ども達、寒川中学校の稲井級(障害児)の生徒達も来て下さり、おいしいおいしいと、つきたての餅をほおばりベンチで豚汁をすすり、肩と肩を寄せ舌づつみを打ちながら話に花が咲いていた。小さい子ども達は、ヨーヨー綿菓子を手。手作りコーナーでは親子が風車の作品を作って、300コ用意した材料もまた、く間に終ってしまった。こんな時でもなければなかなか親子と一緒に作って遊ぶ事が少ないので、と大好評。恵まれた天気には井戸端会議の場となり人々は入れ替わり一日中ぎやかであった。

地域のふれ

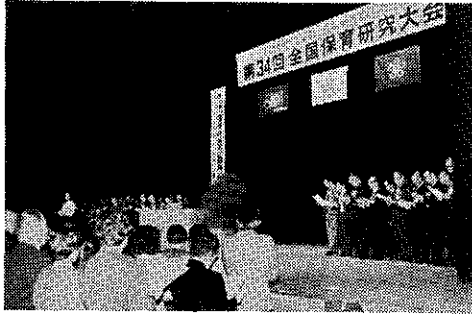


「保母会の研究発表」「折り紙と遊びのコーナー」、試食もできる「給食コーナー」など盛り沢山の企画で、五千三百二十二人の親子の皆さんに楽しんでいただきました。又近隣市の保育関係者、前橋市の保育展研究会(六十名)の皆さんにもご視察いただきました。平成三年度も十一月を予定しており県下の園関係の方々にご来観いただければ幸いです。

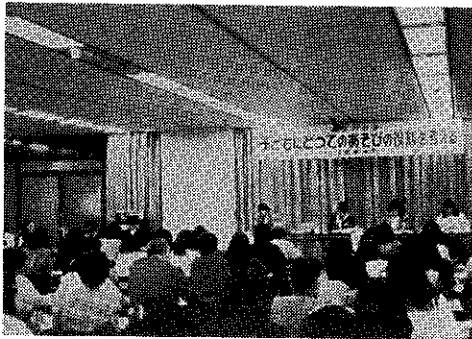


第 34 回全国保育 研究大会開催

去る 11 月 20 日～22 日、北九州市において二千二百名が参集、標記大会が開催された。今回は「子どもの現在の現在（いま）と未来（あす）を育むために―保育所が創造する地域社会の子育て―」がテーマ。第一日の厚生省母子福祉課長の保育情勢についての講演の中で次の点が注目された。―厚生省の来年度予算要求において保育所関係の新規事業として「低学年児童



受入れ事業」（地域保育センター活動の一環として）が盛り込まれている。これは就学直後における環境の変化に対応するため、保育所退所（卒園）後一年程度の児童を対象とし 5 名程度受入れ、一時的保育事業の延長として当該児童の安全確保、情緒の安定等を図るものである。また第一日の基調講演「保育所が創造する地域社会の子育て」で副田義也教授は最近しきりに言われる「家庭の子育て能力の低下」は事実と反する、と否定した。



台風の中での前夜祭

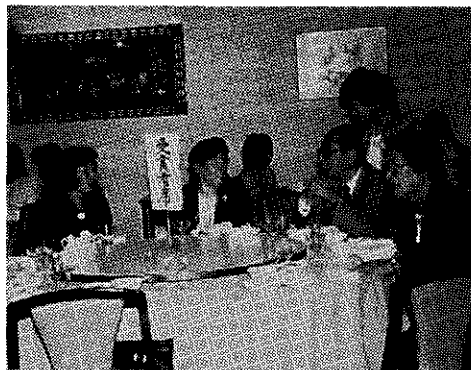
平成二年十一月三十日、東急ホテルに於いて恒例の前夜祭、季節はずれの台風到来で参加者の出足が危ぶまれたが、雨風関係なく保育関係者が一同にお祝いにかけつけ盛会に開かれまし

保母の日前夜祭開く

- 厚生大臣表彰受賞者の小川あきの先生、
- 県保母賞受賞者の安部川ヒロ子・北原頼子・玉水則子

諸先生方の功労をねぎらうて、主催側より鈴木萬史会

長挨拶に始まり、神奈川県福祉部児童福祉課長中村忠雄様他関係団体代表の方々のお祝いの言葉があり、その後アトラクションとして K & K の兄弟によるフォークソ



グ、童謡、唱歌、その歌声に酔い青春のページを思い出しながら時には口づさみ、日頃の忙しさから解放され、あちこちから快い笑い声やジョークなどとび散りどのテーブルもなごやかなゆったりとした気分で楽しい一時をお互い満喫しているようでした。

ただ、残念なことには褒章受賞者の柳瀬コウ先生が受章を前にして十一月二十六日にご逝去されました。謹んでご冥福を

お祈り致します。今年の前後祭はまだ雨が残っていたが、明日の「保母の日」は快晴であることを祈りつゝ閉会となりました。

主任保母研修会報告

日時 平成二年十一月六〜七日
場所 敷島館(湯河原町)

十一月だというのに、暖かな日に行なわれた研修は、上衣を脱ぐ陽気でした。都築研修部長の主催者挨拶に始まり、富田副会長は、園の顔である主任保母は、玄関で第一印象を与える大切な役割りであるとの御指導がありました。

鈴木保育会長は、「いま、国際化とは」との演題のもとに話されましたが十分時間がなく残念でした。後半は、A I U 東京教育センター所長でいらっしゃる伊藤道明氏により、「よりよい人間関係を築くために」と題して、ビデオを使用したの講演でした。

A I U というのは、あまり聴いたことのない言葉ですが、保育園に大層かかわりのある仕事だそうで、例えば、園児の事故発生がおこった場合の補償問題を代行して下さい

る保険会社だそうです。改めて再認識をしました。

楽しかった夕食時のひととき、お互いに、リラックスした時間が、もてました。

翌朝、参加者の中には、通いの方もいましたが、喜々とした姿で集いました。改めて、研修会の成果が、実ったことを嬉しく思いました。

グループ毎に、研究討議が始まり熱心な意見交換に、時間のたつのがはやく、終了を催促されてしまいました。

会の終りに、富田副会長は、主任保母の心得を巧みに、墨絵の中にあらわされ、書き方をメモしている方々が多くみられました。

植物の造形に改めて、私達の勉強不足を痛感させられました。

2日間にわたっての研修は、疲れを感じさせる事なく、皆さん、和気あいあいの中、再び、お逢いする日まで、元氣一杯活躍しましよと、笑顔で別れました。

主任保母研修に参加して

中原保育園 上野 直保美

今回の主任保母研修は、感ずる事が多くあり有意義で心新たにしました二日間でした。

『いま国際化とは』の講義では「経済的にも豊かになった日本が真の国際化を遂げるには自国の歴史や文化を良く知り自分の考えをしっかりと持った上で、相手国の文化や生活習慣を理解する事が大切。」等の話の中で、

私は「これからの子ども達は二十一世紀に向けて国際人でなくてはならないけれど、その前に子ども達を育てる保育者が国際的感覚と自国の文化をよく理解し、柔軟な考えを身につけられるよう迫られている」と強く感じさせられました。世界情勢と日本がおかれていた状況等についても、日頃新聞を読んでいる堅苦しくてわかりにくい面も先生のお話では大変わかりやすく勉強になりました。保育に携わる私達は常に保育のみにとら

われているのではなくて、内外の事にも目を向け関心を持つような心がけたいと思いました。次のビデオ使用の『よりよい人間関係を築くために』の講義は、積極的傾聴のすすめを軸に、コミュニケーションの基本や信頼を得るポイント等たくさん具体例が実に身近に感じられました。こうしたビデオの貸し出しが可能ならば、是非園内研修で互いに勉強しあってみたいものです。

グループ討議も活発な意見交換の場となり、保母は皆小さい子ども達を預かる保育現場で悩んだり努力したりしている様で、何かしらほっとした気持ちになるひと時でした。二十一世紀を担ってくれる子ども達はどう育てて欲しいのか……を心にとめて私はこれからも頑張らねばと気持ちを新たにしました。

二日間背すじを伸ばして聞く講義が続いたので、最後の墨絵や草花の話は気が休まりオアシスのようでした。

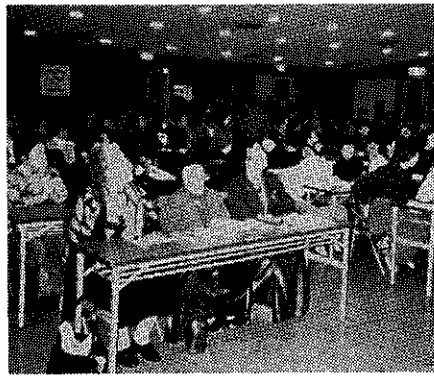
調理員 研修

食事は子ども達の成長発達を促し、健康を守り育てるために一番大切なものです。その食事作りの基になる材料は安全性の高いもの輸入食品より国産のもの、地域のもの、体の生理に合った旬のものを選ぶことが理想とされています。調理員研修内容に「アレルギーのお話し」、「保育と食事」ということで参加者の期待も大きく一月十八日社会福祉会館講堂には昨年を上回る百五十余名の出席があり開催の運びとなった。

メドテック取締役で薬学博士でもある石倉先生の「アレルギーのお話し」は、生化学者の立場から、生命とは、ライフサイエンスとして捉えられ個を議論することから始められる。生体機構のしくみや疾病の考え方から免疫ができる過程までくわしく話された。免疫反応によって起こされる好ましくない状態がアレルギーであってアレ

ルギーには四つの型があること、アレルギー疾患発生原因は、アレルギー(抗原)であり、そのアレルギーをチェックして防御すること、食物、衣類、洗剤等悪化の誘因に物理的刺激を加えない、アレルギー患者には根本治療と共に処置として治療薬も可能である等々だった。

午後のテーマは、井の頭保育園の田村栄養士による「保育と食事」という内容で、子どもの生活は動くことと食べることから始まる。この食べることについて、大きな問題をかかえている。「子どものからだ調査」報告では、アレルギー疾患が第一位である。生活の乱れから、眠れない、食べない、遊べない子どもが増えている。食習慣の基礎づくりは、乳幼児期が最も大切で



ある。井の頭保育園の食事目標やアレルギー児への対応などをききこまかく話された。社会福祉会館の講堂は古い建物で暖房がきかず震えながらの受講で特に午前の講義内容が難しかったと多数の調理員の声を耳にした。

しかし、場所を変えての懇親会場では和気あいあいと中華料理に満足しての解散であった。

楽しい食事、おすすめクッキング。園児に好評な園の献立紹介

1. レバーのかりん揚げ
豚レバー 300g
つけ汁 しょうゆ 大きじ2
しょうが汁 小さじ1
とき卵 1-2個分
片くり粉 大きじ3

揚げ油 適宜
ソース ケチャップ 大きじ3
ウスターソース 大きじ15
砂糖 小さじ2

レバーの血ぬきは三パーセントの塩水で三回水を取りかえる。

2. 煮込みハンバーグ(アレルギー児食)
馬肉 40g、長ねぎ 20g、あわごはん 10g、タピオカ粉 6g、なたね油 1g、トマト 10g、ビート糖 3g。

作り方
馬肉、長ねぎはみじん切りにし、(長ねぎはゆでる)、あわごはん、タピオカ粉と混ぜ合わせ、天塩を少し入れてよくこねる、小判型にまとめ、熱したフライパンになたね油を少し入れ、ハンバーグを焼く、トマトにビート糖を加え、煮てつぶし、水溶きのタピオカ粉を入れてとろみをつけソースを作る。



園 長 研 修

保育園長研修会（施設見学）報告

二月二十二日（金）実施の標記研修会には県下各地の公私立保育園長六十一名が参加。当日は快晴、気温やや低く風少し強。借上げバス一台では全員が乗り切れず、数名の方々は自家用車で移動した。

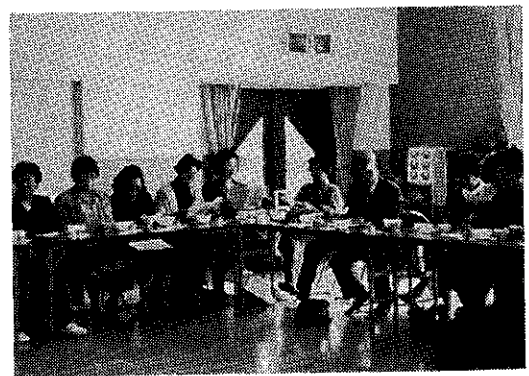
最初、開成町（人口約一万二千人）唯一の保育所、「酒田保育園」（露木省子園長）を見学。同園は昭和六十三年四月改築



（鉄骨耐火構造一部二階建）の素敵な園舎、特に遊戯室（ドリムランドと命名）は抜群に広大

（約百七十坪）で豪華。床はすべて木材を、内壁も下部は木材を使用、二階の乳児室（産休明けより受入れ）は床暖房方式。また敷地も広々としていて羨しい程（二千三百三十六坪）。当日、同園では「調理保育」実施中で園児達も参加して作った白玉汁粉を参加者一同で馳走になった。また園児の組（クラス）編成については縦割りと同年齢別との中間的形態をとっているとのこと。なお二年前より同園園長先生の個人的事業という形式で学童保育を実施しており（園の敷地の隣の園長先生所有の敷地にプレハブの建物を立て）専任指導員一人配置、対象学童は現在小学一年〜四年生計三十三名。来年度は小学一年〜三年生計四十四名受入れ、専任指導員を一人増員して二人配置予定。

昼食は小田原市の都築園長先生



のお骨折りにより大井町の「若竹」で和食を賞味、刺身、天ぷら等とても美味で一同満足。次いで曾我梅林（白梅を中心に約三万本とのこと）へ赴き、「別所会場」で観梅。梅の花は一見満開のようだが仔細に観察すると、蕾のままの木も案外に多く全体として七分咲き位のところであった。当日ウィークデーであったが、かなりの人出であった。最後に小田原市内の「辻村植物公園」（昨年六月植物公園としてオープン）見学。四・七ヘクタール

の起伏の多い敷地に外来種を含む多種の樹木が植えられ、諸施設、石材等に惜しみなく豊富な資金が投入されたに違いない高尚でエレガントな植物公園であった。未見の方々に是非一見の程推奨したい。（園外活動の目的地としても最適）

当日は快晴で空気も乾燥していて道中、車窓より富士山がくっきり見えた。

なお、鈴木萬吏会長より参加者一同に小田原名物というあんパンがプレゼントされた。

今回の園長研修には例年以上の多数の方々が参加され内容も例年に劣らず充実したものと云える。これを担当された研修部会の皆様のご尽力に対し多謝。

余談。最近では建築費の大幅高騰、県下某市内で建設中の民間立特別養護老人ホーム（鉄筋コンクリート造）の建築費は坪当り一三〇万円とのこと。「春なれや名もなき山の初がすみ（芭蕉）」

県内選出議員多数ご参加のもと

予対活動全国に向けて展開

年の瀬を控えた十二月四日、平成三年度の保育予算全面確保実現に向けて、全社協ホール他を会場に全保協主催全国代表者集会在開催された。運動方針、要望書の確認の後国会に対し力強い陳情行動が展開された。

ここでは、乳児保育実施か所数の増、60定員以下保育所事務職員雇上げ費の増、保育所徴収金の軽減、乳児等保育費の拡充他種々の要望を内容としたものである。

神奈川県保育会では、鈴木萬史会長、都築予対部長をはじめ、十名の委員の強力な組織的活動を行った。議員会館では県内選出の衆参併せて六名の先生方を訪れ、要望実現に力を尽して下さいとのお願いをし、本会で会員の皆様にご署名をいただいた陳情書を手渡した。それぞれの議員からは、

「実現に向けて頑張ります」とのご快諾が頼もしかった。

夕方より始まった保育議員との懇談会では、他府県に倍して議員



の先生方のご出席があり、県保育会のメンバーからは、全国の要望のみならず神奈川の保育全般にも話しがおよびいつまでもにぎやかに懇談が続けられた。

県保育会関連

各種事業案内

○第二十五回神奈川県保育事業大会 (開催予定)

期日 平成三年五月十八日(土)

会場 神奈川県社会福祉会館

日程 第一部 式典・総会

第二部 研究討議

なお、研究討議は、平成三年度全国共通研究テーマにより、第一会場「児童福祉推進をはかる法人運営と機能強化」・第二会場「保育ニーズの多様化へ対応する勤務形態と労働条件」・第三会場「子どもと生活のあり方」が内容となる。

○第三十二回関東ブロック保育研究大会

期日 平成三年七月十日(水)～十日(金)

二日(金)

会場 千葉県・鴨川市文化体育館

○全国保育研究大会

期日 平成三年十月十六日(水)～十月十八日(金)

場所 富山県・富山市内

▽おめでとうございます。

平成二年秋に本会関係者で大臣表彰以上の榮譽を受けた方々。厚生大臣表彰

上溝保育園長 小川アキノ様

▽ご冥福をお祈りいたします。

前やなせ保育園長 柳瀬 コウ様

平成二年十一月二十六日逝去

あ と が き

湾岸戦争も終結の方向へ進み、

私達の心にも平和な日々が戻ってくれそうです。今回の事は、世界の新しい動きに積極的に目を向け、共に考えることの必要性を新たに感じた事件でもあったように思われます。保育にも次々新しい展開が望まれますが、前向きに挑むエネルギーを持ってほしいものです。